

標準化教育プログラム [共通知識編]

第 2 章 標準化の方法

本資料は、経済産業省委託事業である「平成19年度基準認証研究開発事業(標準化に関する研修・教育プログラムの開発)」の成果である。

改訂日:2009年3月19日
制 作:吉田 均
(標準講義時間 90分)

学習のねらい …… 第2章 標準化の方法

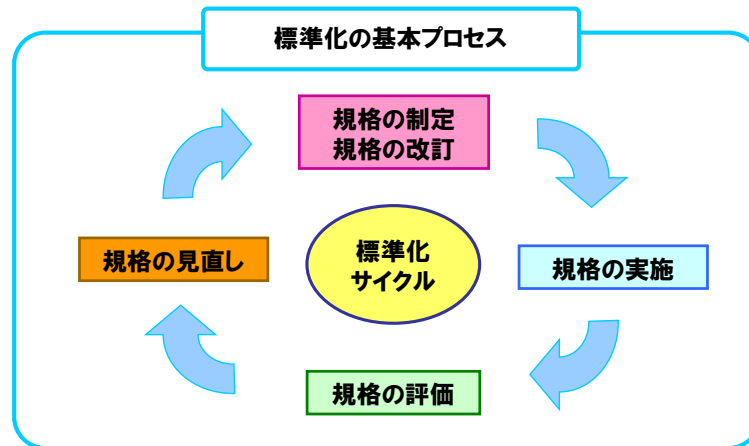
- 1 標準化を進める基本的プロセスを理解する。
- 2 近年の標準化の対象は従来の「モノ」以外の領域にも拡大している。どのような領域にも標準化が進展しているのか現状を学習する。
- 3 標準はその果たす目的や、その標準が作られる過程により分類することができる。標準の概念を整理するためにどのように分類できるか学習する。
- 4 通信・デジタル業界などで発展している新しいタイプの標準を実例を通して学ぶ。



目 次 …… 第2章 標準化の方法

- 1 標準化の方法
 - 標準化の基本プロセス(規格の制定・実施・評価)
 - 標準化のポイント
 - 標準化推進上のコンセプト
 - 標準化の効果(効用)
- 2 標準化の対象
 - 「モノ」の標準化
 - 「システム」の標準化
 - 「サービス」の標準化
- 3 標準の分類

1 標準化の方法 ① ……標準化の基本プロセス



規格の制定, 実施, 評価, 見直しの4過程

規格の制定, 実施, 評価, 見直しの4過程をたどり、**フィードバック**していくことが標準化の第一歩。

標準化の方法 4

◆ 解説

標準化の方法は、大きく分けて、標準(規格・基準等)の①制定, ②実施, ③評価, ④規格の見直しの4過程がある。この最後の③評価の過程のあとで規格等の見直しが行われるが、この過程は①の場合と同じ方法で同じ機関(公的な標準化の場合は、国家又は国際水準で公式に認められている標準化団体)で行われるので、①の中に含まれるものとする。②は適用ともいう。

標準化に限らずどのような活動でもどのような活動でも、たえずその結果を確かめ評価して、それをフィードバックしなければ、活動はうまく進行しない。規格を制定することは、多くの労力と費用のかかることではあるが、これは標準化の第一歩であるに過ぎない。

その後に実施のための調査と計画、それから実施、その次に実施結果の評価をして、当該規格が適当なものであったかどうかを検討する。実施結果が良好ならば規格をそのまま存続させ(これを確認という)、結果が悪い場合は規格を改正又は廃止しなくてはならない。これらの過程を規格の見直しという。つまり、制定→実施→評価→見直し→実施・・・というようなサイクルを繰り返すところの循環過程を形成することが必要である。例えば、日本の工業標準化法では、少なくとも5年ごとの見直しを主務大臣に義務付けている。

以下で、①の制定, ②の実施, ③の評価の3過程について、ポイントを学習する。

◆ 参考文献

・社内標準化便覧編集委員会 編;社内標準化便覧 第3版, pp.62-63, 日本規格協会, 1995.

1 標準化の方法 ② ―規格の制定―

(a) 規格の制定

・規格を定める過程は、選択したものを、ある期間、固定することである。

・規格を制定する際のポイント

(1)規格を作る目的を明確にする。

- ・ 皆の理解と皆の協力が必要、要点を数値化する。
- ・ 国、自治体、団体などの拘束力が必要な場合もある。

(2)目標を設定する(なるべく数値化する)。

- ・ 対象の範囲を見定める。
- ・ 内容を検討しておく。
- ・ 対象に関係する人々の範囲を考える。
- ・ 時期を考えておく。

(3)対象となる人々の理解と協力を得る。

- ・ なるべく広く、理解と協力を得るために説明、説得、教育をし、具体的な実施方法を考える。



標準化の方法 5

◆ 解 説

標準化の直接の目的は単純化(少数化)をすることであるので、規格作成の行動過程は

①多数の代替の中から少数の最適のものを合理的に選択する。

②選び出したものを、ある期間は(一時的に)変化ないように固定し安定させる。

ということになる。

ここで、大事なことは、“ある期間”つまり“一時的”という点である。ものごとは絶えず変化し、その変化には無用の複雑・繁雑化もあるが、有用な進歩過程もある。このような情勢の変化に応じて、規格の内容を改正し又は規格そのものを廃止しなくてはならない。そこで、標準化は一時的に、ある期間だけ固定するのである。期間はことさらに応じて5～15年くらいが普通であるが、基本規格の場合はこの期間が長い。

◆ 参考文献

- ・ 社内標準化便覧編集委員会 編；社内標準化便覧 第3版， pp. 62-63， 日本規格協会， 1995.

1 標準化の方法 ③ –規格の実施(適用)–

(b) 規格の実施(適用)

- 規格の実施にあたっては、強制によるか任意によるかが問題となる。
- 規格の適用を法的に強制するか任意とするかは、その社会の実状に応じて慎重に決めるべきである。
- 任意制の国家規格の中のある部分が法律に引用又は引照されて強制されることがある。

標準化の方法 6

◆ 解 説

標準化の目標は最終的には個人及び社会生活を能率よく快適にすることであるが、それは制定された規格を広く実施(適用)することによって初めて達成される。規格の実施方法については、強制によるか任意によるかが問題になる。社内規格はすべて強制が原則であって社員はこれを無視することは許されない。

これに対して、国家規格の場合は強制が非強制かが慎重に決められる。その決定は、規格の性質、その社会の工業化の程度にもよるし、またその国の政治体制によって左右される。例えば、共産圏の国家では強制規格になっているが、自由経済の国家では大部分は任意制である。ただし、計量単位とか貨幣単位などは法律によって強制されている。国際規格そのものはもちろん任意制である。

◆ 参考文献

- 1) 社内標準化便覧編集委員会 編；社内標準化便覧 第3版，pp. 62-63，日本規格協会，1995.

1 標準化の方法 ④ –規格の評価・見直し–

(c) 規格の評価・見直し

1) 定期的間隔で規格を見直し, 確認, 改訂, 廃止を行う。

2) 改訂, 廃止の場合

- ・ 関係する人々の創意工夫で, 良い方法が見つかった。
- ・ 科学技術の進歩があった。
- ・ 社会情勢の変化から使えなくなった。
- ・ 関係する人々の調査の結果廃止した方が良い。

◆ 改訂や廃止の際の留意点

- ・ どの範囲の人々が利便を受け, 又は不便, 不利を受けるか。
- ・ 改訂する時期はいつ頃がよいか。

標準化の方法 7

◆ 解 説

いったん制定した規格は科学技術の進歩や社会情勢の変化などに伴い, 常に見直していくことが大切であり, 標準化における不可欠なプロセスである。例えば, JISは工業標準化法により制定された日から少なくとも5年以内に, 内容が適切であるか確認を行うこととなっている。

1) 定期的間隔で規格を見直し, 確認, 改訂, 廃止を行う。

2) 改訂, 廃止を行う場合として, 一般的に例えば以下のような背景がある。

- ・ 関係する人々の創意工夫で, 良い方法が見つかった。
- ・ 科学技術の進歩があった。
- ・ 社会情勢の変化から使えなくなった。
- ・ 関係する人々の調査の結果廃止した方が良い。

改訂や廃止の際, 以下の点を留意することが必要である。

- ・ どの範囲の人々が利便を受け, 又は不便, 不利を受けるか。
- ・ 改訂する時期はいつ頃がよいか。

1 標準化の方法 ⑤ –ポイント–

■ 標準化を推進するために

- 1) その対象について詳しい知識を持っている人を集める。
- 2) その対象についてアンケートを求める。
- 3) 関係者で考えられるあらゆる提案を整理する。
- 4) 仕事や業務の進展に合わせて図を描いてみる。
- 5) 各種の統計的方法を活用して要因を見つけ出す。
- 6) 過去のデータ, 改めて入手したデータを含めて活用する。
- 7) 計測技術の開発は重要。

◆ 解 説

標準化を推進する際のポイントとしては以下の点がある。

- 1) その対象について詳しい知識を持っている人を集める。
- 2) その対象についてアンケートを求める。
- 3) 関係者で考えられるあらゆる提案を整理する。
- 4) 仕事や業務の進展に合わせて図を描いてみる。
- 5) 各種の統計的方法を活用して要因を見つけ出す。
- 6) 過去のデータ, 改めて入手したデータを含めて活用する。
- 7) 計測技術の開発は重要。

標準化の方法 ⑥ –標準化推進上のコンセプト–

■ 標準化を推進する上でのコンセプト

- 1) 標準化というのは本来**先行的業務**である。
- 2) 活きた標準とは、**その企業のもの**である。
- 3) 製品の多様化へは**部品の標準化**で対応せよ。
- 4) 標準化活動は**上流**に近いところから行え。
- 5) 標準化のねらいは**不良発生の予防措置**である。
- 6) **品質は工程**で作り込まれる。

標準化の方法 9

◆ 解 説

標準化を推進する上でのコンセプトは

- 1) 標準化というのは本来先行的業務である。
- 2) 活きた標準とは、その企業のものである。
- 3) 製品の多様化へは部品の標準化で対応せよ。
- 4) 標準化活動は上流に近いところから行え。
- 5) 標準化のねらいは不良発生の予防措置である。
- 6) 品質は工程で作り込まれる。

1 標準化の方法 ⑦ ……標準化の効果(効用)

■ 標準化の推進によってもたらせる具体的な効果

- 1) 情報伝達の迅速化と高精度化がはかれる。
- 2) 流通業者, 消費者の理解を早期に獲得できる。
- 3) 製造者, 消費者間のトラブルが減少する。
- 4) 保全, 修理作業の効率化がはかれる。
- 5) トラブルの再発防止を効率的に行うことができる。

標準化の方法 10

◆ 解 説

標準化による効果(標準化の意義)については、第1章で学習したが、より具体的な効果としては

- 1) 情報伝達の迅速化と高精度化がはかれる。
- 2) 流通業者, 消費者の理解を早期に獲得できる。
- 3) 製造者, 消費者間のトラブルが減少する。
- 4) 保全, 修理作業の効率化がはかれる。
- 5) トラブルの再発防止を効率的に行うことができる。

2 標準化の対象

標準化をする対象は従来の「モノ」だけでなく、近年では「プロセス」や「サービス」にも拡大

(1) 「モノ」(Product) の標準化

- ・製品
- ・製品の原料となる材料(例:金属材料, 非金属材料, 潤滑剤など)
- ・部品(例:ボルト, ナット, ねじ, 軸受などの組立製品の機械要素など)
- ・ソフトウェア, プログラム

(2) 「プロセス」(Process) の標準化

- ・機械設備, 装置など運転・停止のための仕組み
- ・品質, 環境, 安全等の管理(マネジメント)のための仕組み

(3) 「サービス」(Service) の標準化

- ・金融業, 旅行業, 商社等のように「カネ」, 「ヒト」, 「モノ」の交流を図る業務の標準化
- ・教育, 医療等の提供内容の標準化

標準化の方法 11

◆ 解 説

標準化をする対象は従来の「モノ」だけでなく、近年では「プロセス」や「サービス」にも拡大している。

「モノ」の標準化は、これまでの標準化の主な対象であったように、例えば製品、その材料、組立製品ではその部品などである。また、形は存在しないもののコンピュータのソフトウェア、プログラムなどの電子データもこの枠に分類される。

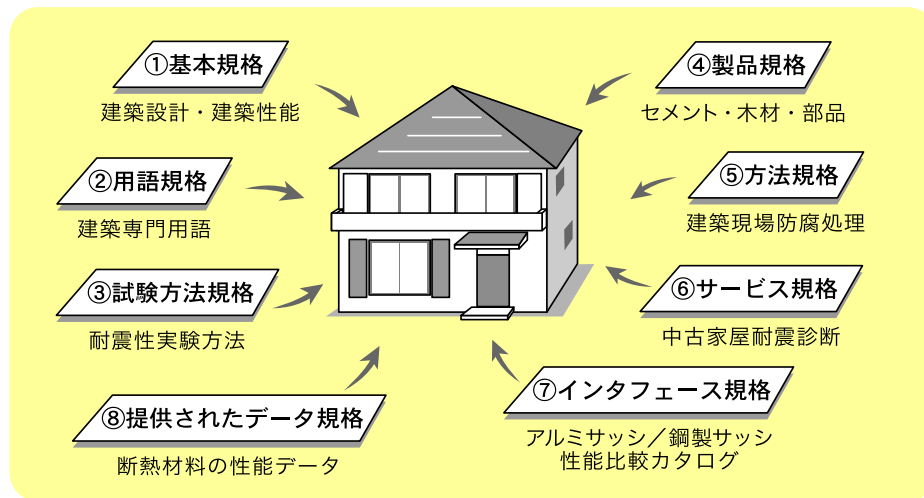
「プロセス」の標準化は、例えば機械設備などの安全確保の観点からの運転・停止のための仕組み、ISO9000(品質マネジメントシステム規格)、ISO14000(環境マネジメントシステム規格)などが挙げられる。特に、近年では「労働安全衛生マネジメントシステム規格」や「リスクマネジメントシステム規格」など一層広範な分野にも標準化が推進されている。

◆ 参考資料

- ・奈良好啓;新入社員のための国際標準化入門, 標準化と品質管理, 57, No.3, p.4-35, 2004.

3 規格の分類 ①……目的による分類

例えば、住宅を建てる場合、どのような規格が使われているか考えてみよう。



〔出所：奈良 好啓，国際標準化入門，日本規格協会，2004.〕

標準化の方法 12

◆ 解説

ここからは標準（規格）の分類について学習していきましょう。このことは標準の概念を整理することに役立ちます。分類のしかたにはいくつかあります。例えば、標準の目的によって分類するもの、また水準によるもの、また制定過程によって分類するものなどがあります。この中で最もわかりやすい「目的」の観点から住宅を例に規格进行分类してみると、図のような分け方ができます。

住宅以外にも身近な製品を題材にどのようなカテゴリーの規格が使われているか考えてみましょう。

＜例＞ パソコン・電話などの電気・通信機器



◆ 参考文献

・奈良好啓；国際標準化入門，やさしいシリーズ12，pp.28-29，2004.

3 規格の分類 ②……目的による分類

- (a) **基本規格(basic standard)**:
ある分野について広範囲にわたる「規定」が書かれていて、他の「規格」と併用。
- (b) **用語規格(terminology standard)**:
「規格」内に書かれた「用語」の定義を説明。
- (c) **試験方法規格(testing standard)**:
試験に関係する「規格」。試験方法, サンプルング, 統計的処理方法等。
- (d) **製品規格(product standard)**:
製品又は製品のグループが満たさなければならない「要求事項」。
「寸法規格」「材料規格」のように更に分類。

標準化の方法 13

◆ 解 説

(a) 基本規格:ある分野について広範囲にわたる「規定」が書かれていて、他の「規格」と併用します。例えば、建築時の図面の規格は基本規格の一つです。

[JISの例] JIS B 0001 機械製図
JIS Z 8310 製図総則

(b) 用語規格:「規格」内に書かれた「用語」の定義を説明しています。

[JISの例] JIS K 0211 分析化学用語(基礎部門)
JIS Z 8114 製図－製図用語
JIS X 0001 情報処理用語－基本用語
JIS Q 9000 品質マネジメントシステム－基本及び用語
JIS Q 17000 適合性評価－用語及び一般原則

(c) 試験方法規格:試験に関係する「規格」で、試験方法, サンプルング, 統計的処理方法等が含まれます。製品の品質を確認するために必須の規格です。

[JISの例] JIS Z 8703 試験場所の標準状態
JIS D 1001 自動車用エンジン出力試験方法
JIS K 0095 排ガス試料採取方法

(d) 製品規格:製品又は製品のグループが見たさなければならない「要求事項」が書かれています。

[JISの例] JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
JIS B 1180 六角ボルト
JIS C 5201-1 ～ -9 電子機器用固定抵抗器

◆ 参考文献

・奈良好啓;国際標準化入門, やさしいシリーズ12, pp.28-29, 2004.

3 規格の分類 ③……目的による分類

(e) 方法規格(process standard):

製品を製造するため、製造工程や電子機器を使う情報処理方法。

(f) サービス規格(service standard):

電気、ガス、水道の供給から通信業、広告業等のサービス。

(g) インタフェース規格(interface standard):

製品と製品やシステムとシステムの間にある問題を規定。

(h) 提供されるデータの規格(standard on data to be provided):

製品、工程、サービスを規定するデータリスト。

標準化の方法 14

◆ 解 説

(e) 方法規格: 製品を製造するための製造工程や電子機器を使つての情報処理方法が書かれています。

〔JISの例〕 JIS H 8610 電気亜鉛めっき

JIS B 6913 鉄鋼の焼入焼戻し加工

JIS Z 6913 鉄鋼の焼入焼戻し加工

(f) サービス規格: 電気、ガス、水道の供給から通信業、広告業などのサービスについて規定した文章です。

〔JISの例〕 JIS S 0104 消費生活用製品のリコール社告の記載項目及び作成方法

(g) インターフェース規格: 製品と製品やシステムとシステムの間にある問題を既定した文章です。

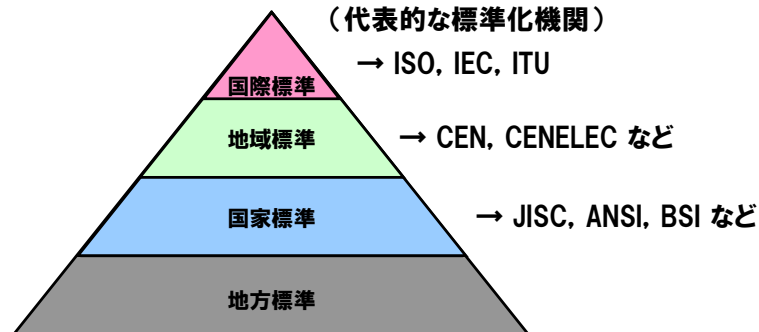
(h) 提供されるデータの規格: 製品、工程、サービスを規定するデータリストが含まれます。

◆ 参考文献

・奈良好啓; 国際標準化入門, やさしいシリーズ12, pp.28-29, 2004.

3 標準(規格)の分類 ④ ー水準による分類ー

「標準」は地理上、政治上または経済上の水準から四つの階層(hierarchy)に分類できる。



地域標準、国家標準、地方標準は国際標準と協調することにより、規格開発の重複を避けたり、下位の標準を国際標準として採用されるような取り組みを行っている。

標準化の方法 15

◆ 解説

次に、標準(規格)のもう一つの分類のしかたとして、「標準化」に関わる地理上、政治上又は経済上の水準から考えて見ましょう。この場合、図のピラミッドのように「地方標準」、「国家標準」、「地域標準」、「国際標準」と分類できます。

- ① 国際標準: 世界の国々が共通して利用できる標準(規格)です。
- ② 地域標準: 地理上、政治上または経済上での特定の地域内で利用できる規格です。EU(欧州連合)加盟国が使うEN規格は地域標準に属します。
- ③ 国家標準: 一国内で使う標準です。JIS規格はこれに属します。
- ④ 地方標準: 一国内のある地方で使う標準です。ここには、省庁、業界、会社、工場の水準で決められて使われる標準が含まれます。業界で使われる規格は「団体規格」と呼ばれたり、会社内の規格は「社内規格」と一般に呼ばれます。

◆ 参考文献

・奈良好啓; 国際標準化入門, やさしいシリーズ12, pp.30-31, 2004.

3 標準(規格)の分類 ⑤ — 制定過程による分類 —

■ デジュール標準 (de jure standard)

- ・“de jure”はフランス語の「法にあった」,「法律上で正式の」の意
- ・一般に認められている標準化団体が作成した又は作成している標準。公的標準とも言う。(JIS Z 8002)
- ・国家規格として採用され, 法基準を適用するときにその技術的根拠を示すために使われる。
- ・例: SI単位, ISO9000, ISO14000など

■ デファクト標準 (de fact standard)

- ・“de fact”はフランス語の「事実上の」の意
- ・市場において広く利用されている標準。事実上の標準とも言う。(JIS Z 8002)
- ・実質的に世界市場で採用しているいわゆる「世界標準」。法的強制力はないが市場での競争力で勝ち抜いた標準。
- ・例: Microsoft社の基本ソフト“Windows” など

標準化の方法 16

◆ 解 説

国際規格にはその標準が作られる過程により二種類がある。一つはデジュール標準(de jure standard), もう一つはデファクト標準(de fact standard)である。

前者は国際標準化機構(ISO)や国際電気標準会議(IEC), 国際電気通信連合(ITU)などの国際標準化機関が関係者の合意の上, 制定される標準である。“デジュール”はフランス語の“de jure”に由来し, 「法にあった」, 「法律上で正式の」という意味であることから使われている。SI単位や近年, 特に注目されているISO9000(品質マネジメントシステム規格)やISO14000(環境マネジメントシステム規格)などがデジュール標準の例である。

一方, 後者のデファクト標準とは, Microsoft社の基本ソフト“Windows”やバーコード, ビデオテープのVHS方式などのように市場で勝ち抜いた結果, 実質的に世界市場で採用された標準である。このようなことから「世界標準」ともよく言われる。なお, バーコードについては, 我が国では一般的にJAN(Japanese Article Number)コードが用いられているが, このコードは1985年に標準化され, JIS X 0501(共通商品コード用バーコードシンボル)として規格が制定されている。このように, デファクト標準として誕生した標準でも, 後に デジュール標準となったものもある。

◆ 参考資料

- 1) 奈良好啓; 国際標準化入門, やさしいシリーズ12, pp.36-38, 日本規格協会, 2004.
- 2) 能登 靖; 国際標準化活動の重要性について, 特集 産業競争力と国際標準化戦略, 品質, **35**, No.2, pp.6-12, 2005.
- 3) 経済産業省 標準化経済性研究会 編; 国際競争とグローバル・スタンダード, 事例にみるビジネスモデルとは, 日本規格協会, 2006.
- 4) JIS X 0501:1985 共通商品コード用バーコードシンボル

上記4の規格票は下記アドレスにて閲覧することができる。

<http://www.jisc.go.jp/app/JPS/JPSO0020.html> (日本工業標準調査会)

- 5) JIS Z 8002 標準化及び関連活動—一般的な用語 (ISO/IEC Guide 2の翻訳規格)

3 標準(規格)の分類 ⑥ –フォーラム標準–

■ フォーラム標準(Forum standard)

- 幾つかの団体(企業など)が協力して自主的に作成した又は作成している標準 (JIS Z 8002)。
- 公的ではないが、“デジュール標準”のような開かれた手続きを持つ。
- 特に、先端技術分野の標準を作成する場合によく利用される。
- 例: DVD-ROM規格, など

標準化の方法 17

◆ 解 説

近年、先端技術分野においては関心のある複数の企業などが集まって“フォーラム”と呼ばれる組織が結成され、その組織が実質的な業界の規格を作るという新しい規格のつられ方が誕生してきている。このような標準は“フォーラム標準”(Forum standard)と呼ばれる。従来の規格は、市場が成熟期を迎えてから作られる“事後標準”がほとんどであったが、DVDのような最先端技術を使った製品の場合には、市場が形成される前に標準が作られる“事前標準”が中心となる。短期間に巨大な市場を形成することをもくろんだ企業間の規格の合意、業界規格に基づいた商品の上市及びその結果としての市場競争が繰り広げられている。この背景には、デジュールスタンダードの策定には少なくとも数年かかり、進歩の速い情報通信分野等の実態に合致しにくいことがある。それに対し、国際標準化機関では、フォーラムとの連携関係の構築や迅速に規格策定を行えるルールが整備されつつある。

◆ 参考資料

- 1) 経済産業省 標準化経済性研究会 編; 国際競争とグローバル・スタンダード, 事例にみるビジネスモデルとは, 日本規格協会, 2006.
- 2) DVDフォーラム, <http://www.dvdforum.gr.jp/>
- 3) JIS Z 8002 標準化及び関連活動—一般的な用語 (ISO/IEC Guide 2の翻訳規格)

3 標準(規格)の分類 ⑦ ーフォーラム標準の例ー

◆ フォーラム標準の例

・DVDフォーラム

対象分野: DVD

拠 点 : 日本

会員数 : 235社(うち日系89社)



・ITS America

対象分野: 高度道路交通システム

拠 点 : 米国

会員数 : 567社



〔出所: 国土交通省道路局 ITS推進室〕

・3GPP

対象分野: 携帯通信

拠 点 : フランス

会員数 : パートナー団体14組織



標準化の方法 18

◆ 解 説

その他の例

W3C インターネット 米国 419社

MPEGIF 動画フォーマット 米国 65社

Bluetooth SIG 無線通信 スウェーデン プロモータ会員8社

Echonet 情報家電 日本 102社

ま と め …… 第2章 標準化の方法

- 1 標準化は「規格の制定」、「規格の実施」、「規格の評価」の各プロセスを繰り返すことにより推進される。
- 2 標準化をする対象は「モノ」だけでなく、近年では「システム」や「サービス」にも拡大している。
- 3 標準(規格)は、その目的により8つに分類される。
 - ①基本規格 ②用語規格 ③試験方法規格 ④製品規格
 - ⑤方法規格 ⑥サービス規格 ⑦インターフェース規格
 - ⑧提供されるデータの規格
- 4 標準(規格)は、その水準により4つに分類される。
 - ①国際標準 ②地域標準 ③国家標準 ④地方標準
- 5 標準(規格)は、その制定の過程により2つに分類される。
 - ①デジュール標準 ②デファクト標準 ③フォーラム標準

標準化の方法 19

◆ 解 説

(なし)

演習問題 A …… 第2章 標準化の方法

- 1 今日、標準化をする対象は従来の「モノ」だけでなく、「システム」や「サービス」に拡大している。「システム」や「サービス」の分野で標準化されている事例を挙げなさい。
- 2 身近なものでデファクト標準の事例を2つ挙げなさい。

標準化の方法 20

◆ 解 説

(なし)

演習問題 B …… 第2章 標準化の方法

- 1 携帯電話などの通信業界やDVDディスクのようなデジタル機器業界では関心のある企業などが集まって結成された“フォーラム”が中心となって標準を作る動きが見られる。たとえ優れた技術であってもフォーラム標準の動向によっては企業の収益に結びつかないこともあり、通信やデジタル機器業界ではフォーラム標準の動向が企業戦略上重要になってきている。

本章で学習した以外に(1)どのようなフォーラムが形成されているか、また、(2)そのフォーラムを形成する企業、(3)その企業数、(4)近年の動向を調べなさい。



標準化の方法 21

◆ 解 説

(なし)

参考資料 …… 第2章 標準化の方法

- 1) 梅田政夫;標準化入門, やさしいシリーズ5, 日本規格協会, 2003.
- 2) 社内標準化便覧編集委員会 編;社内標準化便覧 第3版, 日本規格協会, 1995.
- 3) 奈良好啓;新入社員のための国際標準化入門, 標準化と品質管理, 57, No.3, p.4-35, 2004.
- 4) 奈良好啓;国際標準化入門, やさしいシリーズ12, 日本規格協会, 2004.
- 5) 経済産業省 標準化経済性研究会 編;国際競争とグローバル・スタンダード, 事例にみるビジネスモデルとは, 日本規格協会, 2006.
- 6) 特集 産業競争力と国際標準化戦略, 品質, 35, No.2, pp.4-56, 2005.

◆ 解 説

(なし)

ご協力企業名 …… 第2章 標準化の方法

◆ 本教材の制作にあたり, 下記の企業・団体・機関のご協力をいただきました。
(50音順)

国土交通省道路局 ITS推進室

財団法人 流通システム開発センター

◆ 補 足 資 料 ◆

補足資料1：拡大する標準化の対象－医療現場での標準化の取り組み－

○ 医療現場で標準化が必要な背景

1. 情報交換の必要性 ……蓄積された医療情報が医療機関どうして活用できない。
2. データが活用できない……データを得ることができても、医療情報の規格がないため、どの医療機関でも使えるデータベースが構築できず、データが十分活用されない。

○ 今後の医療における標準化グランドデザイン

例：電子カルテ普及の数値目標

平成16年度：2次医療圏ですくなくとも1施設

平成18年度：400床以上の病院の6割、全診療所の6割に普及

○ 医療で必要となる標準化の項目

例：医療機関……(現状)ナショナルコードは存在するが、未公開

医師名

診療科名……(現状)ナショナルコードが存在せず、分類も不完全

症状の記述……標準化の最大の課題

医薬品……(現状)HOTコード(医療情報開発センター)があるが、体系として不完全

手術・処置……(現状)診療報酬請求用コードがあるが、現場では完全には利用されていない。

〔出所：医療の標準化概論，<http://www.jmcnet.co.jp/hyoujyunn/index.html>〕

標準化の方法 25

◆ 解 説

標準化の対象はp.11のように従来の「モノ」から「システム」、「サービス」へ広がりつつあることを学習しました。標準化の対象が拡大している例として医療現場での標準化をご紹介します。

高齢化社会を向かえ、医療に関わる情報は毎年増加傾向にあります。しかし、医療情報の形式がまちまちであり、ある病院での治療実績や経験が他の病院での治療に活かされていないという現状があります。このようなことから医療情報を標準化し、データベースを構築しようとしています。その一つの試みが“電子カルテ”です。平成18年度までに、400床以上の病院の6割、また全診療所の6割に普及させることを目標としています。これにより、医療機関どうしで情報を交換して治療に役立てることができると期待されています。

◆ 参考文献

・医療の標準化概論，<http://www.>